

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年12月22日更新

事務事業名	下水道雨水建設改良事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康		所属部	水道局	課長名 平田 政臣
	施策	18	住環境の充実		所属課	下水道課	担当者名 浪崎 弘太郎
	施策の柱	58	公園など身近な住環境の整備とみどりの保全		所属班	下水道班	(内線) 5284
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	下水道法 合志市下水道条例
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 29 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	公共下水道雨水計画に基づき函渠を整備することにより、大雨による災害を未然に防ぐ事業である。大雨による災害等から市民の生命と財産を守るため、公共下水道計画に基づき、全体計画の約50%を整備してきている。近年、ゲリラ豪雨等による浸水被害が発生している。
【業務の流れ】	下水道事業認可区域の函渠整備 ①測量設計委託契約 ②実施設計書の作成 ③道路占用申請 ④工事請負契約の締結 ⑤下水道函渠工事 ⑥竣工検査 ⑦支払い事務 ⑧事業に伴う国庫補助金要望、申請、交付、検査事務
【主な予算費目】	委託料、工事請負費
【意見や要望】	御代志地区から、ゲリラ豪雨時に越流する道路側溝の解消をしてほしいとの要望が出ている(建設課事業で対応予定)。黒石地区の一部区域から、ゲリラ豪雨時に浸水する道路と宅地の状況の解消をしてほしいとの要望が出ている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	黒石雨水幹線エリアの浸水対策にかかる下水道事業計画(雨水)の変更(業務委託)を行った。	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 黒石雨水幹線エリアの雨水バイパス管築造にかかる雨水管渠築造実施設計(業務委託)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) m → ア: 管渠整備延長 イ: 雨水管渠の整備	予算の主な増減の理由 黒石雨水幹線バイパス管築造にかかる雨水管渠築造実施設計(業務委託)による増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	対象区域の市民及び財産	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 戸 → ア: 浸水被害想定戸数(床下・床上) イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	浸水被害から守られる	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 戸 → ア: 浸水被害解消戸数(床下・床上) イ:
*③成果指標設定の理由と 4年度目標値設定の根拠 対象区域における浸水被害想定戸数の被害解消を目的としているため。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度 実績(決算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	3年度 実績(決算)	4年度 目標(当初予算)	5年度 予定	6年度 見込	7年度 見込
① 活動指標	ア	m	0	0	0	0	0	250	0	0
	イ	箇所	0	0	0	0	0	1	0	0
② 対象指標	ア	戸	0	10	10	10	10	0	0	0
	イ									
③ 成果指標	ア	戸	0	0	0	0	0	10	0	0
	イ									
投資 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円				18,500	75,500		
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円				16,600	68,000		
		その他	千円			6,000	3,080	1,900		
		繰入金	千円					7,500		
	一般財源	千円								
	(A) 事業費計	千円	0	0	6,000	3,080	37,000	151,000	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	0	0	5	5	5	5	0	0
	延べ業務時間	時間	0	0	300	330	300	300	0	0
	(B) 人件費計	千円	0	0	1,195	1,290	1,195	1,195	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	7,195	4,370	38,195	152,195	0	0

事務事業名	下水道雨水建設改良事業	所属部	水道局	所属課	下水道課
-------	-------------	-----	-----	-----	------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 令和3年度の活動は事業計画の変更を行った
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 4年度は雨水管渠築造実施設計を行う
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 雨水排水対策地域が限定されることから、向上の余地はない。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似の事業として、道路付属物としての側溝及び地下浸透を目的とした調整池等に係る建設課の道路維持事業や農道及び農業用土地改良施設等に係る農政課の維持管理事業があるが、それぞれ対象とする施設が区分されているため、手段としての連携の可能性はあるが、統廃合はできない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 雨水排水対策地域に対する設計指針等の基準に沿った計画、施工が必要であるため、削減の余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在に至るまで、他の事務事業との兼務により人的な作業を行ってきており、削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 自然に起因する雨水を速やかに排除するための施設を整備することは、公費で負担すべき事業であり、適正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 雨水排除に係る経費は公費で負担すべきであり、大規模な雨水排水施設の整備には専門性が求められ、地域や住民への役割分担は危険性があるため、現状での行政の関与、役割は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

今後も必要に応じて、雨水排水対策を継続していく。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					